

あなたに  
出逢えて：

＊  
＊  
＊  
＊  
＊

— 今日の春瀨会は、十日あまり長くなりまし  
たけど、

皆さんとお会いできて嬉しく思

ております —

— 先生 —

春瀨会をさせて頂いて感じる事は、春瀨会の皆さん  
は、皆それぞれ何か持っているんじゃないかと思うん



です。隠れているのであって、それを出すのが早いかわいかなで、宝を隠しているような気がしますね。

裸になればそれが出てしまつて楽なんですけども、やはり、通らなきゃいけないんですよ、色んな事、苦しみやら辛さ、それに連ねて喜びとか嬉しさがあるんですけど、事実、生まれてきたということは、辛さとか苦しみとか悲しさとかもしつかりその身で覚える為に生まれて来てる場所が多いんじゃないかなと思うんです。

でも、春瀨会の皆さんは、本当に辛い思いをされて

も、絶対光があつて、その光に包まれて、一生懸命自分でやっつけていこうと思つて努力なさつていると思うんですね。

努力して自分自身の持つているものを春瀰会で伸ばしていつてらっしゃると思いますが、一番邪魔するのはおごり高ぶつた、高慢な心だなと思いますね。

高慢な心が無かつたら、伸びるだけ、伸びられるし、自分で持つている特性とか技術とか才覚とか感覚とか触感とか冴えていくと思うんです。

春瀰会をさせて頂いて、一番有り難いと思うのは、高

慢な心を持っていた人達が少しずつ消えていつている事ですね。

だけど、遠慮しちやいけない時に遠慮するのは高慢なんですよ。

本当の遠慮はいいんです。その場で遠慮したりする事で、その人が言わなかったために前に進まなかったり、その人がちよつと遠慮したばかりに新しいアイデアがでなかったりする時もあるでしょう。

だから、色々感じたりした時は、ぱつと出す事も大事なんですよね。威張る事だけが高慢じゃないんです。

一ヶ月一回ここに来て、言葉を聞いたり、空気を見たり、体で感じたりして、またこれから一ヶ月間頑張るんだっていう心になって。

頑張るっていう心は、自分ひとり頑張るのじゃなくて、頑張る事によって周りの人も楽になるし、周りの人も穏やかになるっていうのが、横に必ずあると思うんです。

一般的になかなかそういう心になれないけど、この春満会というのは小さいながらもそれを一人一人の胸に養ってあるような気がして仕方がないんですよ。

何が自分達にとって宝であるかといったら、自分自身の中に有る、自信とか責任感とか直観力とか、色んなもの、でも特に、自信というのは凄く大きいですよ。

「高慢でない自信」

自信が付くと、どんな事があっても怖くないですよ。ね。

色んな意味で自分で自覚されて一つ一つ学んでいかれるといいと思います・・・。

それでは、紫苑さん宜しくお願い致します。

— 紫苑さん —

流れのままにいい話を聞かせて頂き有難うございました。

今日は久しく会えるお方や、遠くから御出でくださった方に初めてお会いできる素晴らしいご縁を頂き、本当に嬉しく思っております。

素晴らしい会がもう始まっておりますが、皆さんも何時ものように素直な気持ちで沢山頂いていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。





先生

今日は、皆さんとエネルギーを回しましょう。

どうしても力を付けたい方がいらっしゃるから。お互い助け合いで、助ける理が助かるというからですね。

本当に人を助けようという一心な気持ちには、何かの時に自分が助かるんですよ。だから、春瀨会は助ける会と思わない？

苦しい人を助けたいという一心の気持ちは絶対まわ

るんですよね。これ、訓練なんです。手を合わせてエネルギーまわして、その感覚を受け取るんです、感覚を知るんですよね。この感覚、感性を覚えて、太陽エネルギーとか月とか雲とか、木とか森林とか、そういうものをイメージして、そこからエネルギーを受けてそれを人に与えるんですよ。

今日は、心で苦しんでいる人が居られるから、それは、分け合いましようという事と、心が楽になれますように、それぞれ、皆さん楽なイメージを作って、太陽のイメージでもいいし、好きな男性でも良いです、

誰でもいいです、好きな人はパワーがありますからね。  
何か動きますので、それでは始めましょう。

―― 沈黙 ――

睦月さん言葉を出して

―― 睦月さん ――

今日皆さんに話したい事があります・・・・・・



私は、色々な事をすいどってきました、そして、それをためてきました。

それゆえ、体がわるくなり、家族に迷惑をかけてしまいました。全部言葉を閉じ込めてしまったからです。でも、先生のお陰で少しずつ言葉を出せる様になりました。

言葉を出す事によって、私自身思い悩む事も有りましたが、今は言葉を出せる事が楽でしかたがありません、言葉を出す事が少しずつ私の中で自信となつて、人と話す事が怖くなりました。

もう、言葉を出す事を後悔していません、悪いとも、嫌だとも思いません、

言葉を出すという事は、ほんとに大切に自分を癒し、他人を癒すんだと思いました、本当に感じました。

正しき中、信なる中、信なる中、信ある中、慈悲ある中、神ある中

命預けし、人間作られし神の下に集まりし、この場所この時間

人間作られし神に深く感謝、感謝、感謝致します

誠なる赤子なる心、

赤子なる心に返して頂き有り難く感謝いたします  
どうも有難うございます、

有難うございます、有難うございました  
た．．．．．

私も、これは初めての体験なんで、助けたいという  
一心が一つになりましたね。

睦月さんの言葉も一つ聞かなければいけなかった  
し、．．．

今日の、この感覚を覚えて、恨み辛みとか、悔しい

とか悲しいとか情けないとか、なるべく自分で取るような練習をしていってください。

今どんな風に感じられたかちょっと聞きたい、感じられたのをちよっとおっしゃってください。

— 紫苑さん —

とにかく、一生懸命先生から伝わるものを流したい、自分の所で止めたくない気持ちだったんですけど・・・ただ、感覚的には、とにかく皆さん本当に真剣でいら

っしやる事、どなたかのお役に立ちたいと思っ  
ている事が心で感じられました。

―― 苗さん

今日言葉を聞かせて頂いて、素直が一番、無が一番。  
自分を着飾る事の醜さをいちばん感じました。

やっぱり、風花さんは出さなきゃいけないから一言  
出して。

―― 風花さん





やっぱり来ていた時に比べて、意識しないままに、あんまり人に感謝する事とか、薄れてきてたのかなとここ一ヶ月特に思いました。

私は、色んな事が有っても一人で考えて一人で乗り越えて、それでやっていけないと感じて、思っていました。

でも、もうどうしようもなく苦しくなつて、春瀨会の人に相談しました。

すると、本当に親身になつて、考えてくれて、なんか一人じゃないんだなつて、思いました。

凄く凄く言葉とかが力強かったりして、どうして、  
周りの人に支えてもらってる事に気付かなかったんだ  
ろうと思って、今自分が苦しいのはそういうのに全部  
気付かずにやってきたせいで、凄く苦しいけどそうい  
うのに気付かせてもらったことはとても、ありがたい  
なっと思っていました。今まで気付かずに来た分が、今の  
苦しきかなと思って、凄く人の暖かい事とか、些細な  
事とか一杯一杯色々考えたり、支えてもらってたんだ  
なという事にやっと最近気付きました。

先生や皆さんに久しぶりに会えて、長いブランクが有

るのに、普通に暖かく迎えてもらって、凄い嬉しくて  
本当に良かったです。  
有難うございました。

風花さんのお陰でね、皆もまた、勉強になったからね。  
良かったね。

―― 弥生さん ――

この春満会に参加させて頂くのが、多分二年振りぐ  
らいだと思うんですけど、二年前も今も自分の問題と

言うのは解決してる訳ではないんですけど・・

二年前と言うのは辛いばかりで、ちよつとした言で涙が出たり、主人を責めてみたり、幸せの道というのは、勝手に自分でここしかない、頭で一番いい道はこれだと決め付けて、でも、自分の気持ちがついていかなくて、自分を責め続けてきてたんです。

でも、先日先生にお会いしたときに

『貴方は悪くないのよ』

その言葉を言っただいた時、本当に肩の荷が降りたっていうか・・・

結局自分に自信が無いから何かに恐れたりするんだ  
なと思った時に、自分のやりたい事とか、やりたい自  
分というのが凄いいえてきて、今なにかに向っている  
自分っていうのが凄く好きになれて、こんな状況の中  
で自分が好きにいられるというのが有り難くて。

両親や周りの人に支えてもらって、自分は幸せだな  
と思うし、自分も周りを支えていけるように、自分を  
もっともっと成長したいなって思ってます。

今日は、本当にこの場に来させていたいただいて、色んな  
人のお話聞いて、ただ幸せ幸せって言ってるんじゃないな

くって、もっと本当の意味で周りの人が幸せになれるように努力していきたいなと思っています。

有難うございました。

— 睦月さん —

常磐さんのお陰で、春瀨先生との出会いがあり、そして、春瀨先生に助けられて、親の事で動けるようになりました。

今、親の為に精一杯通したいと思っています。

それでも、本当に僅かしか出来ないんだと、やって



もやってもやはり受け取るばかりで、親というものは、子供に与えるばかりなのだな、子供はそれを受け取っていくのだな、返せる事というのは決してありえないのだなと思いし知らされました。

今日とにかく凄かったですね。凄いものがありましたね。

やはり、一つ一つ色んなものを取っていったね、お互い様なんですよ。

頑張って、本当に人を助けると自分が助かりますからね、でも、ここに皆さんが居られますから言葉も出ま

すし、集中的に学びあえるなと思いますね。

人間が人間同士感動しあえるという事は、そうとう大きい何かが動くからだと思うんですね。

どちらかと言うと否定的に成りますよね。色んな集まりと言うのは。

それ一切なくってそうなんだな、と気持ちが大きいですよね。

だから、今日なんか強かったと思いますよね。

ピカピカピカって稲妻みたいな、雷みたいなですね。自癡するんですよね人間はわたしも本当不思議なんで



すけど、色んな事経験させられますね。

なんか風花さんの有難うっていうのがとても響いて来るものね、本当に。凄い！

毎回毎回、内容が違いますけどね、あの手この手使ってどんどん吸収させられてね。

春瀨会は私にとっては根元だなと思いますね。

春瀨会という土台があるから動き易いし色んな知恵を頂いたり私もしてるなと思いますね。

理ができてね、最初ワクワクするけど帰るときは、な

んか一杯重たいくらい荷物貰っちゃってどんなして持つて帰ろうかなって感じに、私はそうなるからね皆そうじゃないかなと思います。

でも、最終的には自分自身が助かるのではなくて、人を助ける道、本当家族、親戚、まわり、それは皆成られると信じてますけどね。

まだまだ、皆さん道中だなと思います、でも、皆さんそういう力を付けていかれると思います。私と一緒に勉強していきましよう。

では、紫苑さん最後お願いします。

— 紫苑さん —

凄く嬉しいです。凄く嬉しくて…。

お一人お一人が、自分がこういう事経験して、経験された事を苦しいながらも、それが、有ったから有り難いという言葉を出された時、何か、真珠の珠がプルンと浮かだような感じで、私達がその言葉を聞く事がエネルギーになるんだなというのを、今本当に感じました。

だから、先生がおっしゃるように

「苦しかったけど、これだけの事が分かりました。」

「有り難かったんですよ」

という言葉がどれだけ人の為になるのかという事が、改めて分かりました。

それで、マイナスの言葉を出してはいけないという事も、やはり、マイナスの事象を出す事によって、エネルギーを半分減らすような形になるのではないかと言う事も、改めて感じさせられました。

皆さん話されたとき、真珠の珠みたな感じで、とても

綺麗な言葉と思い、ありがたくて、その真珠の珠を沢  
山沢山自分の中に集めて、自分のエネルギーにしたい  
なと思いました。



＊  
＊  
＊  
＊



あ  
ど  
が  
き

おでことおでこを　つき合せて

パソコンの前で

字を違いかけて違いかけ

出来上がっている、この文章の

文字の媒体者として動きはじめます

私達三人のころは、ひとつのかたまりとなり

ただ感謝の念で動かされています。

第三十三回春満会

会場　魚一

日時　平成十七年十一月二十五日七時半より

司会・紫苑

＊＊＊＊＊

